

# 磐城之民聲

發行日、十一月廿一日（毎月三回）  
編輯兼發行印刷人 北川 秀雄  
發行所 福島縣平町南町七十八番地  
廣告料 五號十二字詰 一回 五十錢  
一部十錢 一ヶ月二十錢 送料五厘

## 辛未俱樂部組織に就て

### 私共の眞意

町會議員 吉村安次郎  
町會議員 吉田寅之輔

昭和四年五月三十日の町會議員選舉直後私共民政黨の議員が相集りまして昭和俱樂部を組織したのであります。然るに昨年更に櫻井氏が別れて一人一黨主義を標榜せられ遂に残る我々五名を以て今日に至つたのであります。而して僅に五名の集りである民友會が昨年以來當番幹事である吉村が町會開會の前後に集會の通知をだしても種々なる事情の爲うまくゆかぬ様な次第で殆ど有名無實の状態であつた事は誠に遺憾にたいないであります。

#### 民政黨一部の町會

議員の集りである民友會より退會したことが立憲民政黨を脱黨したとか變節したとかとするならば黨員と黨との間に絶交等のあつた場合も脱黨となり得ます。又黨員が反對黨員と交遊する場合等も變節となり得ます。ふのと同じことになり得ます。甚だ偏激なつまらぬ理由と思ふのであります。かゝることを以て或一部の者が我々を脱黨とか變節とかと云ふならば、

#### 是は天下の公案

私するものであつて風上に置けぬ者と云はねばなりませぬ。斷然かゝる者こそ排斥して退黨せしめねばならぬと思ふものであります。由來私共は自治政治に政黨を論じたことはな

#### 由來私共は自治

紙上に萩原氏の談なりとし私共の民友會より退會した事は事實であります。又民政黨も脱黨して居りませんし昭和會入りもいたしません依然として立憲民政黨員であることに少しも變りはありません。只私共が民友會より退會した事は事實であります。

#### 殊に過般國 民新聞

紙上に萩原氏の談なりとし私共の民友會より退會した事は事實であります。

#### 前町會議員 阿部唯次郎氏談

今回私の常に敬服せる同志である町會議員吉田寅之輔君、吉村安次郎君の御二人が主体となつて辛未俱樂部を組織せられ政黨派を超越し嚴正公平なる態度を以て町會の運用を圓滑に伸展し得るならば望まじきことではあります。現在の様な融合しない民友會にあつては町會に何物をも成し得ないものであります。私共過去二年間民友會に席を置きまして、顧みて實に慚むるものがあるのではありません。住みよき町建設を「モットー」として御推薦を承ふして町民諸君に會はせる顔がないのであります。茲に於てか少くも私共は町會の圓滿協調を期すると共に残る二年間たゞのぞみたりとも進めたいと願つて居ります。辛未俱樂部組織を斷行したものであります。其間聊かも他意あるものでありません。

兩町會の今回の舉に對して政派を論ず可からずと云ふ先生の意見は如何なるものでしょうか。圓滿善政を行ふことが出来るならば政黨集團よし小派す………

佐藤氏「其の事は新聞で見たりました。本人から分立よしと思ひます。は何も話はありませんが、吉田、吉村兩君が民政黨を現在のやうな町會の分野で脱黨したと云ふ人があるの互に凌ぎを削つてゐる時ですかそれには誤解でしょう。螢雪會から推薦した鈴木兩君は眞赤な民政黨員です。光吉、吉田寅之輔、吉村安次郎の三町會議員が今回至混同するやうなノールスで次郎の三町會議員が今回至混同するやうなノールスで公、至平で辛未俱樂部を組織はありませぬ、私は政黨組織したことは實に事宜には關係しませんからあま適したことは、我が平町自治に詳しくは解りませんが兩の爲めに双手を擧げて喜ん 君は私共の幼小の時から友人で性格もよく存じて居ります。

只其の會員が十一人ではやりますし識見手腕には常に少くとも十五人位の會員 雪會で夏井川改修問題を叫んでなくとも五十歩百歩になんだ時なども兩君等は地方にはせぬかとも考へられま 問題に對しては政黨を論ず可からずと云つて民政黨の私の考へでは自治政治は常人にも政友會の人にも懇談に圓滿談笑裡に善政を行ふ 努力した程の方です。ドモ政黨政策を加味する 争ひが多くなるやうで困 はありません。必ずや他日成るものが多くなると思ひます。す可きことがあるらうと

辛未俱樂部に就き 螢雪會長 佐藤武之氏と語る 筆者「今回螢雪會幹部の吉田、吉村兩町議が町政刷新の意志の下に政黨派を超越して辛未俱樂部を組織し三万町民の意に添はんとすを聲明するや大部世評が喧ましい様ですが會長として

村政紊亂を憂へ 大野村議改革の烽火を擧ぐ 村民大會を開き徹底村長 赤坂氏を彈劾す 本紙六月十一日上遠野村政更に恬として反省せざるを 上村長赤坂一氏に絡る醜嘆き去る六月三十日大野村 議の數々を大野元村會議員議決は決然起ち村民大會を郷 政改革ステカブレなる村長村政改革の目的事項として 赤坂一氏に筆誅を加へ反は なる村會の不信任

大野元氏の開會議事に入り 目的事項一より四迄、村民 に公開し質問を要求した けれども僅か赤坂氏腹輩の 伊藤小一郎氏の反對意見を 聞くのみで村民六百は之の 内容に驚愕し滿場一致決議 を見た、閉會二時半執行委 員に大野元渡邊幸雄木内伊 太郎の諸氏を擧げ村政改革 のため正義を振りかざして 邁進すべく六百の村民赤坂 氏の不徳を詰り盛會裡の内 散會した

二、村長赤坂一氏の彈劾 三、村税不正賦課の改正 四、改修村道の縣道への移 管等々で 立合申込者は村長村會議員 助役収入役上遠野村區長大 宇深山田區長等で開會に先 立ち植田町の櫻村清氏の村 政改革に係る演説より

製綿問屋 吉村安次郎商店 町研町平 番七五二話 電

# 優にやさしき

## 郡民の心よ!

比佐參與官大禮服資金成る  
逆宣傳に狂奔する者ぞ哀れ

吾等の比佐代議士が若槻内を忍ぶすがにとも金燈籠閣成立と同時に石城郡最初の誠を寄附したことがあるの陸軍參與官に任官するの報一度傳はるや郡民を擧げの彼等の言を借りるなら東て石城郷土の譽なりとし北に於ても有数の老舗資産此處に優にやさしき同志愛家釜屋商店が何を苦しんでの發露より微細なる金を登籠一對位の寄附を受けるよ金參與官の大禮服資金にの要があらうと言ひ度い所爲すの議起り郡下全般に涉であらうが、人である限りり運動中なりしが此の程漸誰れがこの美しき人の心に成り近く取まらぬ有志の打たれぬ者があらう、比佐者により大禮服調製贈呈參與官の場合とてやはり同る筈なるが事毎にかゝる際し事である、或は大禮服を一言なかるべからざる某調製する位の金は如何様に縣議一昧の者は或は某新聞もならうが石城郡民の輿望を抱きこみ甚だしきは民政を負ふて政界に活躍爲し見黨幹部の下に書狀を以つて事期待に背かず今陸軍參與一同情を名とし金調を強請與官に任官したことは結局するものなり「乞食にて似石城郡石城郡民の名譽でなた所業なり」と惡罵し殊にくて何んであらう、比佐の「比佐は年俸何千圓也喜びがとりもなほさず石城取る爲なれば敢へて郡民よ郷土の喜びである以上此處り同情を強いて大禮服を調に喜びを共に喜ぶの郷製するの要はあるまい」と土愛同志愛の發露よりして聞くに至つては全く噴飯に今回の擧に出しものなるを堪へぬ次第である、尤も私只宣傳に惡罵に汲々たる彼情私慾の爲めには愛黨心、等は逆宣傳をこゝろみては同志愛など更らになく朝に却つて反感を招いて居ると甲と結び夕に乙と手を握り身から出た錆とは言ひ笑指導後援を受けた先輩に止の限りである「物言ひは養湯を飲ませせ恬として恥ぢ唇寒し秋の風」とは思ひどざる輩に同志愛郷土愛を説本紙はそうした人達に變遷くも、そは馬耳東風猫に念多き人の世に變らぬ人の心佛に等しけれど一例を擧げの美しさを一寸御教へし度て參考に供することにする、いと思つたので以上を掲載かつて故諸橋久太郎氏が物した所似である

# 突!!!

## 新味俱樂部組織

民政黨町議有志を以て

先に町政の自治体たるべき吾人は公私關係に於て意志意義の下に是れが圓滿なるの疎通を謀り互に親睦協運用を期する目的を以て各を旨とし社會的に善所せん政黨政派を超越せる有志議ことを期す  
昭和六年七月十一日  
佐藤岩次郎  
吉田五平  
武田元之助  
櫻井清  
永山富廣  
其の行動は各方面より注視の焦点となりつゝある所突如今回又々新味俱樂部と銘名せる一團體が十一日左の町議を以て組織せられたるが縣議總選舉を目前に控追て荒川(淺)荒川(恒)兩町へてかく町議の合同合流の議も加はる筈なるが去るにひん繁なるは何を語つて居ても同俱樂部今後の行動こそ辛末俱樂部と共に最も刮目に價するものあらんと  
新味俱樂部趣旨

お 壽 し  
江 戸 前 杵 壽 し  
小 料 理  
平町三丁目横町  
電話六七九番

### ▲出前迅速!!!

## 和洋銅鐵金物問屋

釜屋商店  
平町五丁目  
電話九番九九番

### ▲改増築御披露▼

皆様の松ヶ岡は今般多大の御聲援に依り店内改築中の處愈々落成味覺にサービンスに舊來の面目を一新致しました  
夏の夜の敬策には是非御立寄りを御待ち致して居ります

## カフェー松ヶ岡

買ツテ安ク  
贈ツテ便利ナ  
陶器ノ御用ハ

# 十錢屋

平町一丁目

太平洋海上火災保險株式會社

平代理店 吉田寅之輔

吉田紋店

平町紺屋町  
電話四七六番

耳鼻咽喉 專門  
氣管食道 專門

## 増田醫院

院長 日本醫學士 増田之  
平町南町(電話四八二番)  
入院隨時應需

## 佐藤科醫院

院長 佐藤武之  
平町四丁目  
電話五〇八番

外科一般 專門  
花柳病

## 木村科醫院

平町六丁目橋際  
電話三〇九番  
◎入院自炊の便あり

永久取引をモットーとする

吳服太物 森吳服店  
ラシヤ製品 好間村立坑

## 銅像製作

並ニ美術青銅鑄物

平町七丁目  
鑄金家 工藤源吉  
彫塑家 小野田高節

△諸難病勸迎効力絶大!!!  
◎是非一度試みられよ  
特許中山式カイソネーチャー療院

## 磐城分院

主人 吉田五平  
平町大町(電話三七一番)

# 天茶

ヤスクテ  
茶銘岡靜場本  
園角大  
路小槌搔町平

本店の推奨する...  
榮養に富み食べて美味しく  
焚えて殖える絶対無砂搗  
胚芽米を召せ

## 山野邊米店

平町 仲町  
電話三一八番

## 若松自動車部

乗合 赤井間  
平町搔槌小路  
話呼出(壽し本)三五一番